



【学校教育目標】 “ 知恵があり、心豊かで、たくましい宇佐っ子の育成 ”

【キャッチフレーズ】 かじこく、やさしく、たくましい 日本一の宇佐っ子になる!

【文責】 久保崎 正範

No. 11 <http://syou.oita-ed.jp/usa/usa>



# 基礎学力の定着できています!

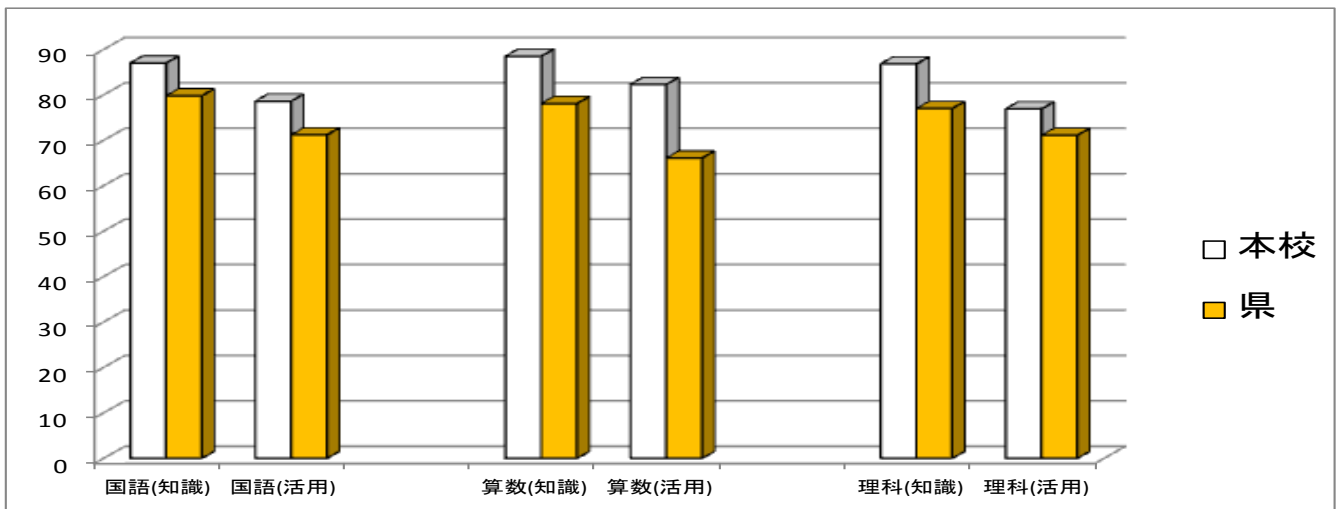
4月に実施した大分県学力定着状況調査(5年)と、全国学力・学習状況調査(6年)の結果が戻ってきました。学校全体として知識・活用力とも、県や全国の平均を超えていました。

わかる・できる授業づくり、家庭学習チェックカードの取組、2年生以上の国語辞典の活用、児童会を中心とした「笑顔宣言」や各月の目当ての取組、「あいさつ運動」など全学年で組織的・継続的に行っている成果がトータルとして現れているものと思います。

しかし、①自分の考えを表現する力が今一歩 ②テレビ視聴・ゲーム時間が長いなどの課題もあります。結果にだけ一喜一憂せず、油断をしないよう引き続き取組を進めているところです。

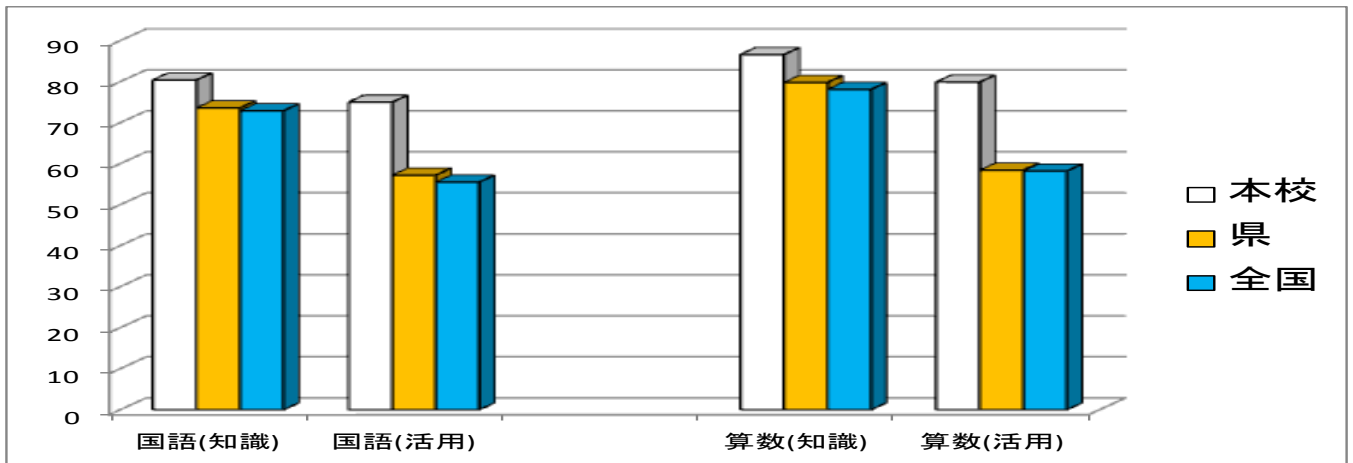
平成26年度 大分県学力定着状況調査(5年)

※正答率をグラフ化



平成26年度 全国学力・学習状況調査(6年)

※正答率をグラフ化



# 子どもたちがキラリと輝いた「秋季大運動会」

9月28日（日）は天気にも恵まれ、大いに盛り上がった秋季大運動会でした。早朝より応援に駆けつけてくださった保護者・ご家族・地域の皆様方、関係機関の方々、本当にありがとうございました。

子どもたちの活躍する姿を見ながら、このエネルギーは、これまでの勉強や練習のがんばりが「力」として蓄えられてきたからだろうなと思いました。勝って気がついたことや、負けて覚えたこともあったでしょう。とにかく最後まであきらめない子どもたちの「一生懸命さ」を見ていて、頼もしく、そしてうらやましく感じました。

今年の運動会を通して、子どもたちが「大きく変わってきたこと」や「力がついたこと」を5つ挙げてみました。

- ① 応援などで、1人ひとりが“はずかしがらずに、声をしっかり出すようになった”こと。
- ② 団長を中心に、1人ひとりが“自分で考え、自信を持ってキビキビ動くようになった”こと。
- ③ 低・高学年の演技など、“今までできなかったことが、できるようになった”こと。
- ④ たとえ途中で上手いかわなくても、“最後まであきらめず一生懸命やりぬくようになった”こと。
- ⑤ “熱中症などで体調をこわすこともなく、毎日の練習と本番を全員が元気にやりぬいた”こと。

